

障害者権利条約と

障害者制度改革

小澤 温

二〇〇六年、国連総会において「障害者権利条約」が採択された。これまで、「国際障害者年」とその理念の具体化のための計画としての「障害者に関する世界行動計画」、「国連・障害者の十年」の終了後に国連で採択された「障害者の機会均等化に関する標準規則」など、障害者の権利に関する理念、行動計画、規則は存在していたが、拘束力のある条約はなかった。法的な拘束力のある条約として「障害者権利条約」が国連総会で採択されたことは各国の取り組みの実効性を推進する点で、きわめて大きな意義を有している。

この条約においては、障害者の権利として明確化し、権利保障を実効のあるものにする点で重要である。また、この条約で特に重要視されていることは、「合理的配慮」という考え方である。障害者が権利を行使できない環境に置かれていて、個々の状況に依り調整したりする必要がある。個々の状況に応じた環境の改善、調整を怠った場合は差別として位置づけることができる点は重要である。

現在、政府は、障害者権利条約の批准に関して、国内的な環境整備を進めようとしている。仮に、障害者権利条約の条文および規定に国内的法の条文および規定に国内的法の条文が抵触すると解釈される場合は、迅速な見直しが必要である。また、障害者権利条約に明確に抵触していない場合でも、この条約の趣旨にそって、法制度を整備していくことが必要である。そのため、政府にとって、障害者権利条約の批准の前に、国内法との整合性を考えることは喫緊の課題である。

子どもの健康で安全な生活を保障し、家庭や地域への支援を提供する保育は、この社会の存続にかかわる大切な営みである。それだけに、近年、保育への社会的ニーズが高まり、保育者の質的向上が望まれている。ところが、保育者の労働条件や労働環境は十分に理解されておらず、これらが改善される道筋はついていない。

子どもは約四十二万人、幼稚園教諭は約十万人といわれ、「専門的・技術的職業従事者」という労働市場で大きなウエイトを占める。今、保育者の労働環境は大きな転換期を迎えている。少子化対策としての子育て支援、次世代育成のプロジェクト、国庫補助負担金改革、規制緩和といった諸施策が展開している。一方、保育者の職務は多様な減少、ストレスの高まり、養成・研修段階での専門性の確保、さらには保育者による

保育者の「早期離職」という問題

池田 隆 英

改正法は二〇一一年八月に成立した。しかし、少なくとも、障害者権利条約を意識した初めての法律であり、これまでの日本の障害者福祉の基盤を大きく変える可能性は高いと思われる。

しかし、保育の施策や機能、あるいは保育者の職務や考え方への期待が高まる一方、「労働問題」への関心は薄れてきたように思われる。こうした研究事情の中、近年では、保育職務を「感情労働」としてとらえる研究も現われ、全国保育士養成協議会は保育者の計量的調査を行っている。筆者らも、保育者の職務内容を総合的に理解することをめざした調査を行った。保育者の勤務年数が長いほどサービスは向上し、保育者の力量が高いほどストレーンは低くなる傾向が読みとれた。特に、若い保育者のストレーンを弱めるには、①共有の風土づくり、②保育実践の厳選、③マナーなどのスキルアップ、④保護者支援の研修がカギになる。

本来、労働環境や労働条件の整備という問題は、個々の保育者や園のレベルを超えた施策上の課題となるべき事があるが、保育者の置かれた状況が十分に理解されていないといえない。その背景には、私たちのつ言説が横たわっている。保育者に対して、聖職者論を残しながら専門職論へと移行しているが、これらは実態とかけ離れやすい。私たちが、保育者の職務内容やストレスについて議論できる、労働者論の基礎となる十分な資料を持ち合わせていない。まずは「事実を見つめること」が優先される課題であろう。

新保保育士養成課程準拠 教科書

なぜからはじめる保育原理	池田隆英・上田敏文・楠本恭之・中原明生 編著	B5 144頁 1890円
相 談 援 助	大嶋恭二・金子恵美 編著	B5 128頁 1890円
保育相談支援	大嶋恭二・金子恵美 編著	B5 128頁 1890円
児童家庭福祉論	赤木正典・流土治郎 編著	A5 208頁 2100円
子どもの福祉	松本峰雄 編著	A5 200頁 2205円
児童家庭福祉のしくみと実践	松本峰雄 編著	A5 200頁 2205円
子どもの養護	松本峰雄 編著	A5 208頁 2100円
子どもの養護の原理と内容	加藤忠明・岩田 力 編著	A5 248頁 2520円
図表で学ぶ子どもの保健Ⅰ	高内正子 編著	B5 192頁 2205円
子どもの保健演習ガイド	高内正子 編著	B5 232頁 2730円
子どもの食と栄養演習	小川雄二 編著	B5 232頁 2730円
セミナー子どもの食と栄養	林 淳三 編著	B5 208頁 2520円
保育者が学ぶ家庭支援論	植木信一 編著	A5 184頁 1890円
幼児教育・保育課程論	戸田雅美・佐伯一弥 編著	A5 160頁 1890円
演習 保育方法の探究	柴崎正行 編著	A5 192頁 2100円
幼児体育	青野光子・松本典子 編著	B5 160頁 1995円

教師と保育士との連携

「小一プロブレム」から考える

植木 信 一

筆者は最近、A県B町の文教施設整備委員会が設置する三つの分科会（教育分科会・建設分科会・保育分科会）のうち保育分科会の座長を務めた。教育分科会および建設分科会においては統合小・中学校について議論した一方で、保育分科会では、小・中学校の統合課題には一切関与せず、同一敷地内に新設する認定こども園と統合小・中学校との連携のあり方について議論した。

認定こども園と統合小・中学校を同一敷地内に置くべきか、あるいはB町役場内部で検討された結果、出てきた課題の一つに「小一プロブレム」があることとされた。保育分科会で「小一プロブレム」とは、「入学したばかりの児童が、落ち着いて授業を受けることのできない状態が数か月続くことである」と定義

したがって、認定こども園の保育士と、統合小・中学校の教師との連携は、「有機的連携」でなければならぬ。この点が障害者権利条約との関係を考えるうえで特に重要な点である。その後、第二次意見書と障害者基本法改正法案との間には、かなりの開きがあるという批判もあり、最終的に、障害者基本法

認定こども園と統合小・中学校を同一敷地内に置くべきか、あるいはB町役場内部で検討された結果、出てきた課題の一つに「小一プロブレム」があることとされた。保育分科会で「小一プロブレム」とは、「入学したばかりの児童が、落ち着いて授業を受けることのできない状態が数か月続くことである」と定義

したがって、認定こども園の保育士と、統合小・中学校の教師との連携は、「有機的連携」でなければならぬ。この点が障害者権利条約との関係を考えるうえで特に重要な点である。その後、第二次意見書と障害者基本法改正法案との間には、かなりの開きがあるという批判もあり、最終的に、障害者基本法

言えは、従来の幼稚園と保育所の機能を合わせた第三の幼保一体型施設である。B町に新設される認定こども園は、保育所を母体としそこに幼稚園機能をもった「保育所型認定こども園」として想定されている。

B町には、私立保育所がなく、既存の五園すべてが公立保育所であるため、認定こども園となった後も公立の施設として新設されることを確認した。したがって、保育分科会では議論される内容も、B町の公的責任によって遂行される内容であるとい

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

また、認定こども園と統合小・中学校との連携を推進していこうとする

東日本大震災から学ぶ 栄養・食生活分野における 危機管理と対応

由 田 克 士

昨年の十月末、岩手県釜石市の仮設住宅に居住しておられる方々を対象とする栄養調査に参画する機会を得た。調査地域へ移動する際、津波で壊滅した街並みが眼下に広がるのを見て、改めてその被害の甚大さを思い知らされた。これまでに、大学をはじめとした研究機関、職能団体等が被災地に入り、さまざまな調査や検証を実施し、その一部はすでに学会誌等で報告されている。しかし、被災地域が広大であり、未だその全容は明らかとはなっており、むしろこれから取り組みが重要になってくるのであろう。このうち栄養・食生活にかかわる分野においては、この度の震災以前に非常時の危機管理体制が十分に計画されて

あった。いかに自治体における危機管理体制の構築が重要であるのかが思い知らされる。一方、この度の震災では、多くの地方自治体から行政栄養士が被災地に派遣され、職能団体である日本栄養士会や全国の大学等からのボランティアも現地入りし、さまざまな活動を行っている。また、厚生労働省でも避難所において食事を提供する際の計画・評価のために当面の目標とするべき栄養の参照量や食品構成例も公表した。これらの対応はかつてない程のものであつて高く評価したい。ただ、これを適切に具体化し、真に必要な対応とするためには、栄養士・管理栄養士各々の能力や技量によるところが大いと考えられる。専門とする分野が異なっている。危機管理上、最低限必要なスキルを維持できるような、日々の訓練やトレーニングの必要性も痛感している。

二〇一一年度入学生から適用された保育士養成課程では、従来の「小児栄養」は「子どもの食と栄養」という科目名称になり、授業内容も変更された。保育士養成課程において「小児栄養」は、長らく三単位（講義二単位、実習一単位）必修であったが、前回二〇〇二年の保育士養成

課程の改定で、演習二単位の科目になったのに続く大きな改定である。幼児をもつ保護者の悩みや日常の保育における保育者の困り事の多くが子どもの食におけるつまづきや、食の保育実践に関することであることから、今回の改定では、栄養学の比重を減らし、「食育の

と、今後の継続的な支援についても、引き続き私たちは真剣に考えていかなくてはならないことは明白である。この未曾有の災害から、多くを学び、これからの適切な対応と未来への備えとしていくことが、私たちに課せられた使命なのであろう。

「子どもの食と栄養（小児栄養）」は、保育士養成課程の必修科目であり、保育士試験の八科目のなかの一つでありながら、全国の保育士養成学校において専任教員が非常に少ないという特徴である。さらに、「小児栄養」を専門的に教えたり、研究したりする大学院等がほとんど存在しないことから、「小児栄養（子どもの食と栄養）」を専門領域とする研究者・教員は、極めて少ないという現実がある。かくいう私も、大学院では食品化学・生化学を専攻しており、縁あって保育士養成課程の小児栄養の専任教員になった者である。多くの養成校で非常勤講師か、同じ大学の栄養・調理系の教員がこの科目を担当している場合が多いが実情である。

「小児栄養」の授業担当者は、自分自身が「小児栄養」を学んだことはなく、ましてや「子どもの食と栄養」という科目になると、何を教え、どんな授業をしたらよいかわからないという悩みを抱えていることが多い。私自身、今は多少自信をもって授業ができるようになり、教科書も何冊か執筆させていただけにうなづいたが、新米の短大教員として「小児栄養」を初めて担当することになった二十六年前は、何を教えたらいのか本当に困った経験がある。こうしたことから、全国の保育士養成課程の小児栄養の授業担当者とともに、全国小児栄養研究会（当初は、保育士養成課程における小児栄養を考える会）という研究会を、十年ほど前から組織して、現在は会の代表を務めている。全国の保育士養成課程の「小児栄養（子どもの食と栄養）」の授業を担当しておられる専任教員・非常勤講師が多く集まって、科目内容にかかわる研修、授業内容や教材の交流を中心とした研究会を毎年一回、開催している。近年、全国の大学で授業改善の取り組みが盛んに行われているようになってきている。同じ大学内の教員同士で授業改善について学び合うことも大切であるが、他の大学の同じ科目の担当者同士が授業の内容も含めて学び合うことで、授業の水準を飛躍的に向上させることができるはずである。現に私も、この研究会で、たくさんの方々と教材を全国の先生方から学ばせていただいている。専任教員、非常勤講師を問わず、同じ授業科目の担当者同士が大学を越えて授業内容について学び合うこうした取り組みが、多くの科目で行われることを期待したい。

（名古屋短期大学教授・教務部長）

タイとの交流四半世紀

武 藤 志 真 子

タイの北部に位置するチェンマイ大学医学部の先生と研究交流が始まってから二十年以上が経ちました。チェンマイはタイ第二の都市ですが、環境も住んでいる人々も穏やかで、老後はチェンマイで暮らしたいというタイ人が多いそうです。二九六年（日本の鎌倉時代末期）に、さらに北部のチェンライから遷都して以来、十六世紀の半ばまでラ

ンナタイ王国（タイ族）の王都として栄え、現在も堀に囲まれたオールドタウンがあります。チェンマイにはチャオプラヤー河の支流であるピン川が流れており、今年の九月末にこの川が氾濫して洪水になりましたが、タイの友人のメールでは、十月には水がひいたようです。いくつかの支流の水がチャオプラヤー河に流れ込み、ゆったりと南下しているため、洪水がバンコクの中心街にせまり、水がなかなかひかない状況が報道されていました。タイのキーワードの一つは「南下」でしょう。王朝もチェンマイと

ンライ」という大らかさがあり、付き合いやすい国民性があります。それは近年植民地になったこともなく、戦争に負けたこともないという、外交上手の歴史も影響していると思います。また、暖かい地域なの調の改善でした。現在は、日本と同様に肥満と生活習慣病が健康上の大きな課題です。タイも健康転換をは

著しく、大きく変わりました。二十年前はバンコクの街を古い車が走り、車を縫って、幼い子どもが花を売りに寄ってきました。チェンマイ近郊の村での調査も、目的は栄養失調の改善でした。現在は、日本と同様に肥満と生活習慣病が健康上の大きな課題です。タイも健康転換をは

（女子栄養大学教授）

教科書ご採用検討のための
見本が入用でしたら
ご請求ください。

芳名・ご住所・学校名・科目名を
明記の上、ハガキでお申込みください。
（ご採用見本は教科書のみとなります）

近 刊 案 内

（平成24年1月5日発行予定）
（する場合、価格が異なります）

計フードコーディネーター論	日本フードサービスチャリタースト協会	編	A5	200頁	1995円
マスター食品学Ⅱ	小関正道	編	B5	176頁	2520円
栄養教育論実習書	岡崎光子・豊場直美	編	B5	160頁	2205円
公衆栄養学実習	井上浩一・川野 因	編	A4	124頁	2625円
運動生理学実習	中村富子・大根伸吾	編	A4	128頁	2625円
食品と調理の官能評価	松本伸子	著	A5	184頁	2205円
食品のマーケティング	木戸啓仁	編	B5	208頁	2625円
乳児保育演習ガイド	高内正子・梶 美保	編	B5	168頁	2205円
子どもの保健演習セミナー	野原八千代	編	A5	224頁	2415円
社会的養護論	流王治郎・赤木正典	編	A5	200頁	2205円
相談援助演習	赤木正典・大西雅裕	編	B5	160頁	2100円
幼児教育と保育のための発達心理学	小池勝生・藤野信行	編	B5	160頁	2100円
福祉ライブラリ	都築光一	編	A5	256頁	2730円
地域福祉論	柴田範子・白井孝子	編	B5	176頁	2310円
生活支援技術の要点	山本かの子	編	B5	80頁	1890円
英語で読み解く生命科学	田所忠弘	編	B5	80頁	1890円
言語聴覚療法シリーズ1	倉内紀子	編	B5	240頁	2835円
改訂言語聴覚障害総論Ⅰ			B5	240頁	2835円
言語聴覚療法シリーズ14	荻安 誠 城本 修	編	B5	232頁	2835円
改訂音声障害			B5	232頁	2835円
医療事	医療秘書教育全国協議会	編	B5	144頁	2100円
医療コンピュータ技能検定テキスト	医療秘書教育全国協議会	編	B5	144頁	2100円
医事コンピュータ技能検定テキスト	医療秘書教育全国協議会	編	B5	144頁	2100円
医事コンピュータ実技	医療秘書教育全国協議会	編	B5	144頁	2100円
新医療秘書実務シリーズ	医療秘書教育全国協議会	編	B5	144頁	2100円
1. 医療秘書			B5	144頁	2100円
2. 病院管理			B5	144頁	2100円
3. 医療情報管理			B5	144頁	2100円
4. 医療関連法規			B5	144頁	2100円
5. 医療用語			B5	144頁	2100円
6. 診療報酬請求事務の基礎			B5	144頁	2100円
ロコモティブシンドロームと栄養	日本栄養・食糧学会	監	A5	250頁	3675円
栄養とエビデナティクス	ネスレ栄養科学会議	監	A5	180頁	2730円
人と食と自然シリーズ2	京都健康フォーラム	監	A5	176頁	1995円
サプリメントを考える	今西二郎	編	A5	176頁	1995円
クックリサイエンス003	日本調理科学会	監	A5	176頁	1995円
野菜をミクロの眼で見る	田村咲江 著		A5	176頁	1995円
「食」を支えるケアとIPW	諏訪さゆり・中村丁次	編	B5	168頁	2205円